

いらっしやいませ ジャコウアゲハの世界へようこそ



こどもむき

- ・蚊帳(かや)の中でジャコウアゲハとあそぼ
- ・ぐるぐる回るジャコウアゲハなぜなのかな
- ・ジャコウアゲハの♂の匂いを嗅ぐコーナーもあるよ
- ・ジャコウアゲハの凧も2匹あるよ

- ・ひとはく(兵庫県立人と自然の博物館)から36箱のジャコウアゲハのなかまがやってきた
 - ・ひとはくの高木俊先生のジャコウアゲハとウマノスズクサの講演会もあるよ
- 【講演会】右下枠内参照**

演題 「山と里のジャコウアゲハ：餌が変わると暮らしも変わる」

- ・日本のジャコウアゲハの5亜種を含め計80箱(約1000匹)のチョウがみれるよ
- ・ジャコウアゲハに擬態したチョウをみよう
- ・世界の国のシンボルのチョウをみよう
- ・国蝶オオムラサキをはじめ県・市・町で制定されたシンボル蝶をみよう
- ・体内に世界最大級の毒をもつアフリカ最大のドルーリーオオアゲハをみよう
- ・かつて国交が少なく大珍品だったキューバジャコウアゲハをみよう



キューバジャコウアゲハ



ドルーリーオオアゲハ

【大珍品】をみる

- ・志賀直哉「暗夜行路」の場面、姫路で明珍火箸とお菊虫を購入。明治時代から伝わる「お菊虫」の売られた姿を昭和2年の版画でみよう。
- ・明治時代、わが国で最初に経木の折箱に入れた駅弁まねきの掛け紙に載る木製のお菊井戸をみよう
- ・あの有名な播州皿屋敷の浮世絵を中心にみられるよ30点
- ・明治末、お菊神社にかつてあった具足の皿(絵葉書)



高木 俊 先生講演会

5月6日(水)祝(振替)
13:30~14:30

【プロフィール】兵庫県立人と自然の博物館 自然・環境マネジメント研究部門 (農学博士)

「実成金菊月」一勇斉国芳 嘉永3年(1850) 具足の皿(明治)

大津「無尽蔵」プロジェクトとは、無尽、無限の英知を持って大津(はりま)の潜在能力を引き出し、地域の活性化と街の活力を目指す。その目標の達成の第一歩が「ジャコウアゲハ(お菊虫)」です。